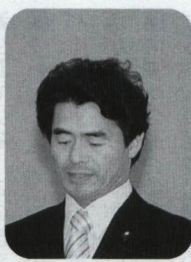


心豊かな学校教育 悲惨な事件の予防対策を

【町長】一人ひとりがいただいた命を大切にすると教育の一点に尽きる



湯田 哲 議員

問 先日、会津若松市で悲しい事件が起きてしまいました。大都会ではなく、この地方都市で起きた事件としては大変大きな衝撃でした。20年前にも、やはり同じような事件やいじめなどが社会問題となり、新聞やテレビは毎日のように取り上げていた。それから10年、20年の間にも、想像を超えた悲惨な事件が数多く起きている。町長はこれらの事件をどのようにとらえ、何が子どもたちにその事件を起こさせているのか、そしてどのような対策をすれば子どもたちが心豊かな人間として育つことができるかと考えているのか。

町長 会津若松市の県立高等学校の生徒が母親を殺害し、逮捕されるという、大変痛ましい悲しむべき事件が起きてしまいました。私は、この会津地方のしかもごく身近な町の人が起こしたことに、大変打ちひしがれるほどの衝撃を受けたところです。

教育委員会では小学校長と中学校長とに分け、教育委員も加わり、対応を協議しています。それよりも前に、各小・中学校での対応は早く、事件の翌日には「お子様の心のケアについて」というような内容で、保護者への文書配布や学校の各クラス内でのサポートを図ったと聞いています。受験を控えた中学3年生とその保護者に動揺があったと聞いていますが、現在は落ちついてきているので、引き続き心のケアとサポート体制を維持していくこととしていきます。

対策については、一人ひとりがいただいた命を大切にすることという教育の一点に尽きると思います。一日一日を大切に積み上げ、志を持って自分の人生を歩むことを子どもたちに教え、導くのが親の務め、教師の務め、そして地域社会に住む大人の務めであると信じていますので、このところに主力を置いた地域協力を高める政策を本気で進めていきます。

「日本の二二」ろく 講師 境野勝悟



子育て応援事業により今年4月30日に行われた県立田島高校での講演会

【再問】命の大切さについて、学校教育の中で先生を通して行うと言うが、具体的に通じるのか。今までも10年2年とずっとやってきたが、犯罪の数は減っていない。その力があるのか。

町長 県の事業の子育て応援事業を活用し、幼児教育から学校教育まで一連のシステムを構築するため、健康福祉課が教育委員会と一体となって検討しています。この教育問題にはしっかりと取り組み、一人ひとりが「あなたがいてくれてありがとう」「私を認めてくれてありがとう」と言えるような地域づくり、教育づくりをしていきたいというのが、現在の私の強い心境です。

【再問】「今の人たちは会話が下手になり、会話ができないからすぐに手が出て、暴力的になるのでは」と言っていた人がいた。友達や、大人を含め、いろいろな人との会話を楽しめる授業や、いろいろな人の価値観に触れられる授業をつくれぬいか。

町長 子育てしているお母さん方もいろいろな方の講演を聞くばかりでなく、自分たちが経験したことを発表し、あるいは語り合い、この中で顔の見える身近なお母さんが主役になり登場し、そういう関係の中から、たくさんの方の価値観を持った子供たちを育てていきたいと考えています。そこで、そのお母さん方が子供と交流をしながら自分の発表を行うということも計画しています。

教育行政現場での提案とは

【教育長】地域社会全体の教育力を高めていくことが求められている

問 施政方針の中で、「南会津町の教育行政の現場で何を提案できるかが大変重要なことであると考えます」とあるが、今現在、教育委員会や教育の現場でどのような提案がなされているのか、あるいはどんな提案が実施される予定なのか。

教育長 教育行政には、家庭や地域と連携し、乳幼児からの家庭教育はもちろん、保育所、幼稚園と小学校との連携を強化し、地域社会全体の教育力を高めていく

ことが求められています。そこで、本年度の本町の教育方針では、心豊かでたくましく、優しい人、未来を開き託すことができる人を育てるため、本町の風土に合った教育を推進していきます。教育施策は全て人づくりという視点であり、人づくりの根底には人々の環境に生かされていることに気づかせ、畏敬の念と感謝の気持ちを培う教育を展開していきます。